

# 細かな気遣い 踊って好きに 八工大

学内発表会

八戸

八戸市の八戸工業大学感性デザイン学部はこのほど、地域文化論の授業の一環で取り組んできた八戸小唄流し踊りの学内発表会を開いた。約50人の学生たちが優雅な動きになるよう気を使いながら、心

を込めて練習の成果を披露した。学生たちは、日本舞踊泉流師範の泉彩菜さんの指導を受け、6月18日から週1回練習を続けてきた。本来は八戸七夕まつりの前夜祭を彩る催し



指の先まで気を使い、練習してきた八戸小唄流し踊りを披露する学生たち

として市中心街で行われる「八戸小唄流し踊り」に参加する予定だったが、新型コロナウイルスの影響でまつりが2年連続で中止されたため、学内での発表となった。小泉美綺さん(1年)は「実際に踊ってみて、しなやかな動きが好きになった。歌詞も味わい深いことが分かった」という。刈谷侑香さん(同)は「指先からつま先まで神経を使った。コロナが収束したらまつりに出て地域の人と一緒に踊りたい」と語った。

川守田礼子准教授は「学生たちは踊りを体感し、地域の文化への理解が深まり、表現する楽しさを感じたと思う。来年こそは中心街で踊れるようになればいい」と話していた。(近藤弘樹)

## 小唄流し踊り 来年は祭り

※「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」